

平成 28 年度

まちづくり活動助成 活動視察

なごや寺町まちづくり協議会

## 「どんぐり広場再生計画 応募作品発表会」

■平成 28 年 10 月 8 日（土）15 時～

■場所 中区橋 1 日置神社

### ■なごや寺町まちづくり協議会

あまり使われなくなっている「下日置どんぐり広場」を地域の特性に合わせ、緑豊かな広場に再生するために、地域住民による「どんぐり広場再生計画案」のアイデア募集、マスタープランの作成、実行に向けての話し合い等、来年度からの整備計画の実施を目指しています。

### ■活動のようす

「地域“魅力”アップ部門」で選考された、なごや寺町まちづくり協議会の「どんぐり広場再生計画 応募作品発表会」の活動視察に伺いました。



秋祭りでにぎわう日置神社

10 月 8 日（土）午後 3 時ごろから、中区の橋 1 丁目の「下日置どんぐり広場」の北隣の、秋祭りでにぎわう日置神社で、「どんぐり広場再生計画」に応募した子ども達や父母など数百名の前で応募作品と選出された作品の発表会が行われました。

この「どんぐり広場再生計画」の応募用紙は、



「どんぐり広場再生計画」応募用紙

中区の橘小学校と松原小学校の協力により、夏休みの自由課題のひとつとして全生徒に配布されました。

予想していたよりたくさんの応募があり、公開選考会の予定が、急きょ審査会への変更になりました。10月7日に、名古屋造形大学の先生や町内会の方、日置神社氏子総代、区政協力委員、なごや寺町まちづくり協議会の5名の審査員により81名の応募の中から20作品が選出されました。

子ども達からの「どんぐり広場再生計画」へのあふれる好奇心や期待の高さが感じられます。

審査員のお話しでは、審査のポイントは、絵の上手さではなく、アイデアの楽しさやおもしろさだったそうです。作品は、夏休みの自由課題ということもあり、カラフルでエネルギーが感じられ、迷路や遊具、プール、ツリーハウス等がいきいきと描かれていました。

この日「下日置どんぐり広場」は、お祭りのための自転車置き場として利用されていましたが、この場所は、もともと日置神社の参道だったようで、鳥居や灯籠の礎石が残り、雑草も生い茂っていて、安全の確保や維持管理の難しさを感じました。



普段は、毎月 28 日の地域のイベントの利用ぐらいで、あまり利用されなくなった「下日置どんぐり広場」の利用や再生について、地域で考えるよいきっかけになったと思います。

今年度は引き続き、選出された応募作品のアイデアを取り入れた完成予想図の作成や、実施に向けての話し合い、協賛企業の募集などが予定されています。

子ども達の絵のように、みんなが楽しく安全に過ごせるような広場になるよう、地域の住民も一緒になって活動に参加できるような実施計画が期待されます。

